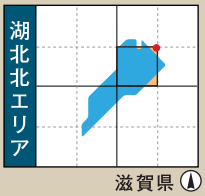
名勝
県指定

理覚院庭園（りがくいんていえん）

高月町井口　昭和61年3月28日指定



理覚院庭園は、江北の戦国大名浅井氏の重臣、井口弾正の菩提寺にあります。庫裡（くり）の南に面する池庭で、滝や中島、護岸に大振りな石を多数用いた力強い庭園で、小堀遠州作の伝説もうなずける名庭です。

当時のできごと	
1531年	足利政氏没
1543年	ポルトガル船種子島に着く
1600年	関ヶ原の戦い



理覚院庭園　礼拝石

理覚院と井口弾正

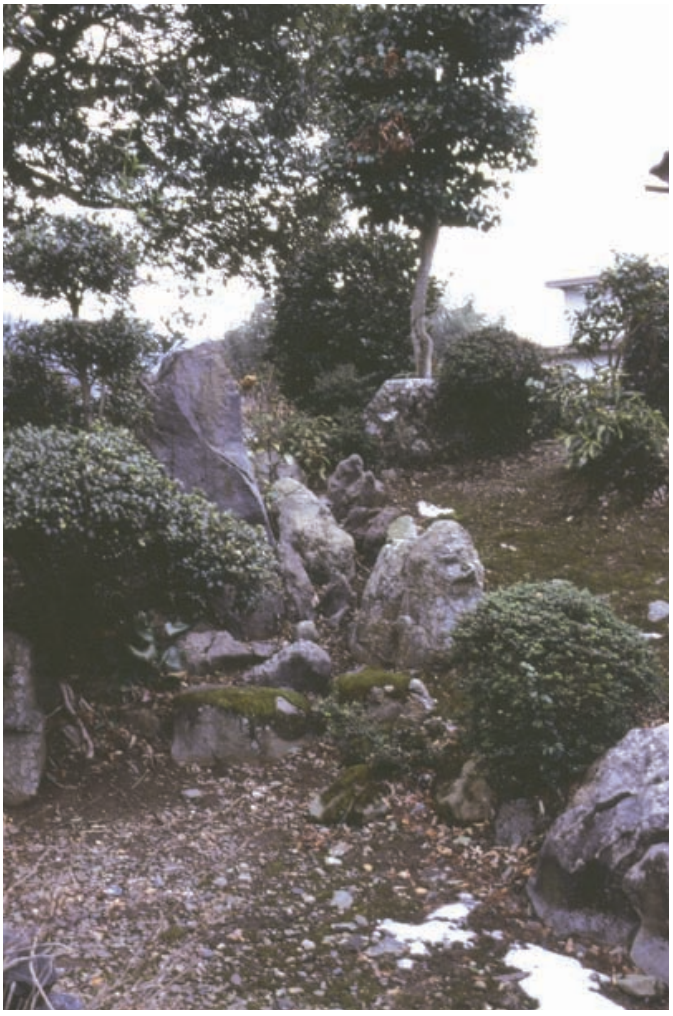
井口（いのくち）氏は、井口村（現在の高月町井口）に本拠を置いた土豪で、古くは京極氏、後に浅井氏に仕えました。16世紀の中頃には高時川の水利を巡る調停者として活躍したようです。井口弾正は享禄4年(1531）に六角定頼との戦いで、窮地に陥った主君浅井亮政の身代わりとなって死んだ経元とされ、理覚院境内にその供養塔が残ります。



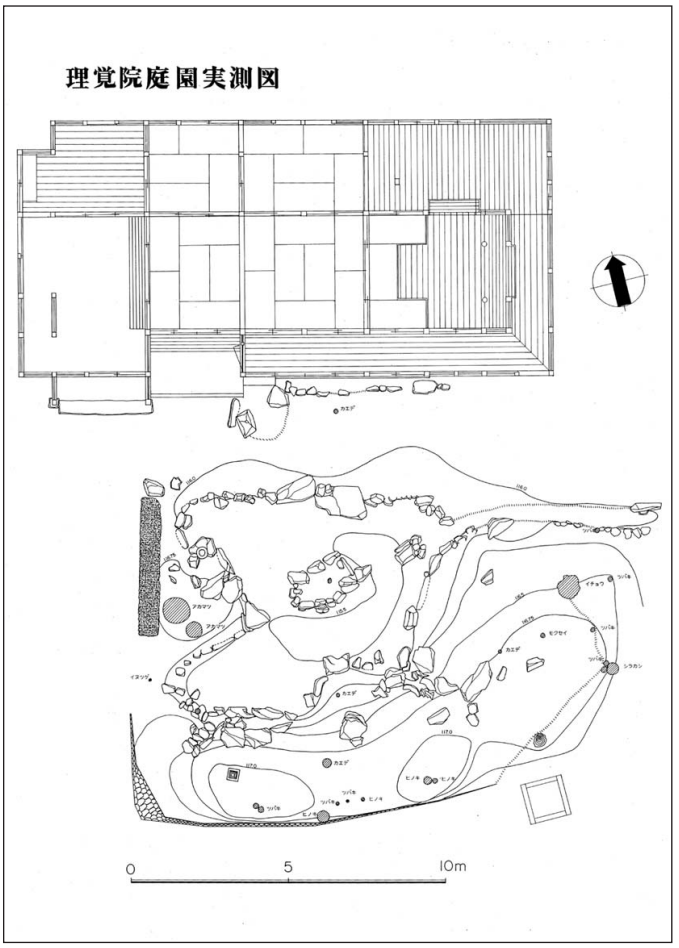
理覚院庭園　中島

庭園の概要

庭は今は枯れていますが、庫裡の南に面する池庭で、もとは東側から水を取り入れていたようです。池の中央には石を組んだ中島があり、手前の岸には大きな礼拝石を据えます。池の背後の築山には、山並みを背景とした滝石組があり、流れが池に注ぐ所に立石を配する他、各所に立石、石組を多用します。これらの石組は、池の護岸とともに古い手法が感じられ、大振りな石と相まって力強い印象を与え、この庭を小堀遠州の作とする伝承も生まれました。作庭の時期は、江戸時代の前期と考えられています。



理覚院庭園　滝石組



理覚院庭園実測図

関連する文化財

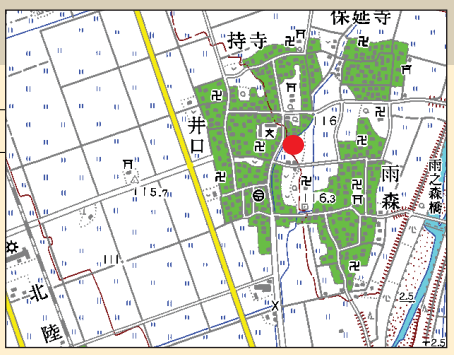
名勝浄信寺庭園（木之本町）	学習シートNo.089
県名勝池氏庭園（浅井町）	学習シートNo.103
日吉神社庭園（高月町）	池と大きな中島が残る庭園。時期は不明であるが近年行った発掘調査では、古代にまでさかのぼる遺物が検出されている

もっと深く知りたい

高月町立観音の里歴史民俗資料館 ☎0749-85-2273　伊香郡高月町渡岸寺229

高月町教育委員会 ☎0749-85-3111　伊香郡高月町渡岸寺160

理覚院庭園へのアクセス　JR北陸本線　高月駅下車
北陸自動車道　木之本インター



【参考文献】〔滋賀県の庭園１～３〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月